

取組の課題・創意工夫 キーワード『多方面から誉める』

課題

- ・ 計画的に実施できていないこともあり，参加人数に伸び悩みがあった。
- ・ 部活動単位で，参加を促していくこと。
- ・ 教員主導になっている。

創意工夫

- ・ 参加した生徒を教員が誉める。 →参加教員・担任・校長が誉める。
- ・ 地域住民が誉める。 →神中バラ会の活動日とリンクさせ，地域住民に誉めてもらう。
- ・ 保護者が誉める。 →ボランティア通信をきっかけに保護者に誉めてもらう。
- ・ 生徒指導主事が教員を誉める。 →参加教員をタイミングを見て誉める。第3者を経由して誉める。

取組の成果（効果） キーワード『道徳的価値の醸成』

- ・ 参加生徒の感想で 「バラ園の草抜きをした。大変だったけど，学校の為にも動くことができた。」「トイレ掃除をした。きれいになって良かった。これからはきれいに使いたい。」というような感想があった。
- ・ 生徒会や部活動の部長，神中リーダー以外の生徒が輝く場面があった。

今後の展開 キーワード『任せる』

- ・ 生徒会執行部（本校では本部）の活動の一部として，位置づけ，生徒が企画・運営できるようにする。
- ・ 生徒指導主事が携わるのではなく，他の教員が生徒の運営補助ができるようにバトンパスしていく。
- ・ 校内だけでなく，地域に出ていき，公園清掃や祭りの手伝い等，地域ボランティアを活性化させる。



他校へのアドバイス キーワード『取組を楽しむ』

- ・ 「面倒くさい」というような姿勢でなく，教員が，ボランティア活動のねらいを共有し，楽しみながら同じベクトルで活動に参加する。

